

守山市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 □地域未来塾 □放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

■目指す姿

本事業を通して公民館、地域と学校がよりよくつながり、地域ぐるみで子育てを行う共同体機能を強化する。

■本年度の具体的な活動

1か月に1回程度 各公民館・学校で打合せ

(可能な限り市教委担当者同席)・・・事業の方向性の検討

10月20日 速野小地域連携実施(2地域の自治会館)

※小学校2年生生活科「まちたんけん」で

自治会長による各地域の説明

11月20日 地域学校協働活動担当者会開催

(情報交換・講師による研修会)

対象：公民館職員、学校担当者、市役所関係職員

「CS地域総がかりで子どもを育てるとは～地域学校協働活動の推進で考えたいこと～」

講師 高木和久氏(元文科省CSマイスター)



【 担当者会の様子 】

■本年度の成果

本年度は3つのモデル地域で取組を行った。公民館を起点として地域と学校がよりよく連携するために、話し合いの場を増やし、互いにできることを検討した。その中で公民館職員と学校職員が話しやすくなり、効果的に地域と学校が連携する土台ができた。吉身公民館では、自治会でボランティア募集のちらしを回覧し、5名の方の応募があった。また、子どもと地域住民とが関わって活動することで、子どもが意欲的に学習したり、地域の方が喜んでくれたりした。

■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

次年度以降は、地域の支援者を増やすとともに、効果的に子どもに関わることができるようにしていくための取組が必要となってくる。公民館と学校が連携する仕組みを強化し、ボランティアの参画を促す中で、地域や学校の現状や強み、課題を共有し、子どもとかかわることを目標とする。

■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

委嘱はしていないが、公民館職員3名が業務を行っている。

■域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

今後の導入について検討中である。